

## 景観構成要素と生活・生業の関係性の導出

### — 別府市鉄輪・明礬温泉地区の重要文化的景観指定に関する研究 —

準会員○森下 泰敬\*<sup>1</sup> 佐藤 誠治\*<sup>3</sup> 姫野 由香\*<sup>2</sup>

7. 都市計画—6. 景観と都市設計 都市計画

景観管理・まちなみ ワークショップ 歴史的景観 重要文化的景観 景観計画・景観整備

#### 1 研究の背景と目的

2005（平成17）年に制定された「重要文化的景観」の保護制度とは、日本の人々の生活や風土に深く結びついた地域特有の景観の重要性が見直されるとともに、その保護の必要性が認識されるようになってきた動きを受けて景観を重要文化財として制定し保護していく制度である。一方、大分県別府市は、豊かな温泉資源による様々な産業が古くから発達し、その生活及び生業により現在の景観を形成している。そのなかでも鉄輪・明礬温泉地区では世界的にも希有な湯けむりによる景観を見ることができ、近年この「湯けむり景観」を「重要文化的景観」として選定し、後世に残すべき景観として、一体的に保護しようという取り組みがこの両地区で始まっている。

また、別府市鉄輪・明礬温泉地区を対象とした既往研究では、文献調査、ヒアリング調査、住民や外来者の意見抽出により、文化的景観を構成し得る景観構成要素を抽出している。これらの景観構成要素は人々の生活・生業によって相互に関係付けられて存在し、当該地域の景観が成り立っている。ゆえに文化的景観を保存していくためには、単に景観を構成する各要素を保存していくだけではなく、それらの関係性や人々の生活・生業を理解し、その保全に努める必要があると言える。

そこで本研究では、まず文化的景観を構成する上で重要な要素を地域の生活や生業、歴史等の観点から抽出し、それらが両地区内に如何に分布し、地域の文化的景観を構成しているのかを把握する。その結果、人々の生活・生業と当該地域の景観との相互関係を明らかにすることを目的としている。

#### 2 対象地区について

別府八湯<sup>注1)</sup>の一つである鉄輪温泉地区（図1）は、地区内の至る所から湯けむりが立ち上り、現在も貸間旅

館などの宿泊施設が軒を連ねる、別府八湯の中でも特に湯治場の雰囲気漂う温泉地域とされている。

地区全体は東西に広がって栄えている（図3）。地区の東北部に位置する熱の湯から南北へ伸びるメインストリートを中心に湯治場が発達した。現存する熱の湯、渋の湯、滝湯、むし湯、谷の湯、地獄原温泉の6つの共同浴場は1736（元文元年）—1909（明治42年）の間にできている。このように、地区の東部は湯治場として発達してきたため、現在のような比較的路地の多い街並み（街路形態）が形成されたと考えられる。東西に延びる九州横断道路の開発（1964（昭和39年））に伴い、大型旅館が次々と道路沿いに新設され、次第に地区内部にも大型旅館が建設されるようになり、現在のような街並みになっている（図1）。



図1 鉄輪温泉地区

#### 3 生活・生業の変遷による重要文化的景観構成要素

##### 3-1 重要な文化的景観構成要素の抽出

既往研究において、文献調査、ヒアリング調査、住民、外来者の意見抽出により、文化的景観を構成し得る景観構成要素が導出されている。そして重要文化的景観の定義<sup>注2)</sup>から、文化的景観が生活や生業との関わりによって築かれてきたことを重視して要件を設定する。特性を把握するために、「生活・生業との関係」・

The Abstraction of the Image of the Future for the Landscape and the Derivation of the Plan That Created by the Living and the Occupation.  
-A Study on the Designation of the Important Cultural Landscape of Kannawa area and Myouban area in Beppu City-

MORISHITA Yasutaka, SATO Seiji, HIMENO Yuka

「原風景形成期<sup>注3)</sup>との関係」・「管理・運営との関係」についても表に示した。当てはまる要素は重要文化的景観を構成し得る要素として抽出した。色が付いている部分が該当する(表1)。

重要な文化的景観を構成し得る要素として抽出されたのは47の要素であった。その6割以上占めるのが「旅館」や「共同温泉」といった建造物である。湯治場として栄えてきた鉄輪地区の景観を構成する上で必要不可欠な要素である。また、大黒屋や双葉荘といった長期滞在者向けに貸間の形態を採った旅館がかつては多く存在した。現在では減少しているが、これらは鉄輪独自の生活・生業に関係性が強く、より重要であると考えることができる。他には湯けむりを発生する「地獄<sup>注4)</sup>」や「気液分離装置」、「地獄釜」が挙げられている。「永福寺再興之碑」や「大谷光端氏碑」といった碑も鉄輪温泉地区の歴史的な景観を構成するには欠かせない要素であるが、直接的に生活・生業とは関係が確認できなかったため、本章の抽出要素には含まないこととした。

### 3-2 景観構成要素の分布

全体図面(図3)より、地区の東部に旅館、共同浴場、住宅、商店の分布が集中していることがわかる。また、さらに西部には地獄地帯が広がっており、この地獄地帯を利用した観覧施設が複数見られる。これらは、地獄めぐり等の名前で別府市の主要な観光施設として知られている。さらに、地区の構成として共同浴場を中心に旅館、商店や住宅が建ち並んでいる。このことは、地区を熱の湯から南北に切った断面図(図2)や拡大図からもわかる。この配置は拡大図(図2)を見るとわかるように、熱の湯、渋の湯、谷の湯などの共同浴場の間に旅館が分布し、その間をつなぐように小型の商店が並んでいる。その組み合わせが当該地域にはいくつも存在している。湯治客は貸間に宿泊し、近くの共同浴場や商店を利用して生活していたと考えられる。これは、湯治場として発達したことを示す地区の構成的な特徴であるといえる。また、住宅は旅館

に併設されているか、それらの間隙に分布していることがわかる。

さらに九州横断道路が開通1964(昭和39)することによって、以前までは見られなかった大型旅館が九州横断道路沿いに建ち並ぶようになり、現在の景観を形成している。また、全体図(図3)より、気液分離装置の多くが旅館、貸間の近くに併設されていることが多いことがわかる。特に大型の湯けむりを発生させる重要な気液分離装置は、地区全体に広がって分布している。地獄釜はほとんどが土地所有者によって管理されており、主に旅館、貸間経営者などである。

表1 重要な文化的景観を構成する要素

景観形成要素	要素群	名称	生活・生業との関係				原風景形成期との関係		管理・運営による景観の維持
			過去からの現在まで一貫した下記への関係		過去からの現在まで一貫した下記への関係		原風景形成期に存在する要素	原風景形成期から存在している要素、原風景形成期以降のハートランドの変化の有無	
			生活	生業	生活	生業			
自然	地形	山	△	×	△	×	●	×	×
植物	樹木	樹木の多さや平均サイズ	×	×	×	×	●	×	×
		大谷の湯のクス	×	×	×	×	●	×	×
自然現象	地獄	湯けむり	×	○	×	○	●	×	×
		湯けむり	×	○	×	○	●	×	×
人工	建造物	旅館(貸間)	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		共同浴場	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(碑)	永福寺再興之碑	×	×	×	×	●	×	○(注3)
		大谷光端氏碑	×	×	×	×	●	×	○(注3)
人工	景観(地獄)	地獄めぐり	×	×	×	×	●	×	○(注3)
		地獄めぐり	×	×	×	×	●	×	○(注3)
人工	景観(商店)	商店	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		商店	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
人工	景観(温泉)	温泉	○	○	○	○	●	×	○(注3)
		温泉	○	○	○				

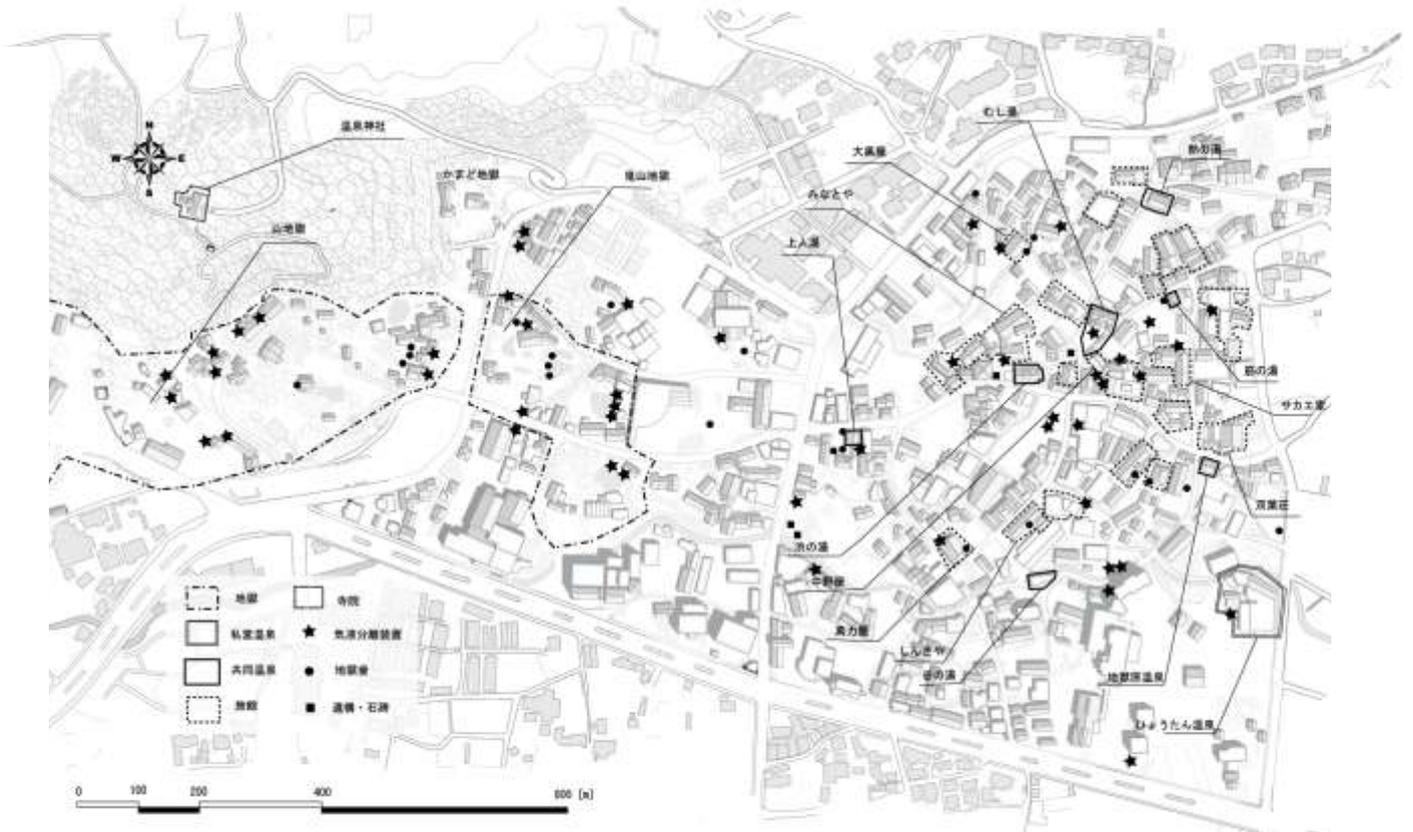


図3 鉄輪温泉地区 全体図

多くが旅館、貸間の近くに併設されていることが多いことがわかる。地獄釜はほとんどが土地所有者によって管理されており、主に旅館、貸間経営者などである。また、特に大型の湯けむりを発生させる重要な気液分離装置は、地区全体に広がって分布している。

拡大図（図4）より、「地獄釜」や「気液分離装置」は旅館の近くに併設されているのがわかる。また、共同浴場の周りに旅館、小さな商店が分布しているのがわかる。

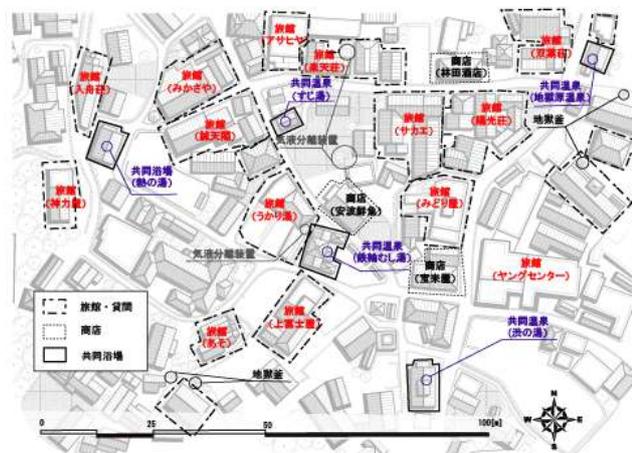


図4 拡大図

#### 4 景観構成要素を含むシーン

本章では3章で述べた重要な文化的景観を構成し得る要素により、当該地域でどのような景観が形成されて

いるのかを、いくつかのシーンを例に詳説する。この際、景観構成要素の相互関係や生活・生業との関係性を中心に考察する。



図5 大黒屋周辺

図4右奥に写る建物が貸間の形態をとる旅館「大黒屋」である。同旅館の創業は大正中期～昭和初期の間である。敷地内の建物に隣接して地熱や蒸気を湯に分離する「気液分離装置」が設置されており、鉄輪温泉地区内の他の旅館でも同様の傾向がみられる。この気液分離装置から立ち昇る湯けむりは規模も大きく湯けむり景観の重要な構成要素である。また、この装置が

ら配管が多方向に伸びていることから、湯を他の家庭にも供給していることがわかる。

さらに、この旅館は同地区の湯治宿に特徴的な「地獄釜」を併設している。この地獄釜を利用して行う地獄蒸しは、温泉の噴気を利用して食材を蒸す調理法で、1910（昭和36）頃から住民の炊事用に用いられていたものが、次第に湯治客にも利用されるようになったとされる。現在では湯治客や住民だけに留まらず立ち寄りの観光客も利用できるよう貸出がされている。また、町並み景観における湯けむりの発生源にもなっている。



図6 谷の湯周辺

鉄輪温泉地区は扇状地の一部に位置しており、地区全体が緩やかな傾斜地であることが写真の建物配置や（図2）からもわかる。図5左奥には九州横断道路沿いに大型旅館が建ち並んでおり、地区内部には住宅が密集している。そのなかの一角に共同浴場「谷の湯」がある。同共同浴場は1845（弘化2）の書籍<sup>注4)</sup>にも掲載が確認されていることから、古くに拓かれたことがわかる。現在は主に近隣に住む住民に利用されており、自治会によって管理運営がされている。また「谷の湯」周辺にも大型旅館があり、それらに併設されている「気液分離装置」からは湯けむりが立ち上っている。特に右手前に見える気液分離装置は複数の施設の源泉を担っているため他の装置に比べ大型である。

## 5 総括

本研究では、まず既往研究によって抽出されている文化的景観を構成する要素の中から、重要文化的景観の定義に基づき、より重要な要素を抽出した。加えて当該地域におけるそれらの分布を確認した。その結果、当該地域の空間構成の特性を把握することができた。さらにいくつかのシーンを例にして、実際の景観がど

のように構成されているのかを詳説し、各構成要素の相互関係や人々の生活又は生業との相互関係を明らかにした。

今後は、これらの特性を有した当該地域において、地域に関係する様々な主体がどのように利用しながら生活や生業が成立しているのかを、建築物調査やヒアリング調査により明らかにしたい。

### 【補注】

- 注1) 別府八湯「別府市内の8つの代表的な温泉地の総称」浜脇・別府・亀川・鉄輪・観海寺・堀田・柴石・明礬温泉  
 注2) 重要文化的景観の定義「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理科二のため欠くことのできないもの（文化財保護法大ニ条第1項第5号より）」  
 注3) 原風景形成期「文献による歴史調査や住民へのヒアリングによって、重要文化的景観の特徴が築かれた期間を「原風景形成期間」として抽出している。鉄輪温泉地区の湯けむり原風景形成期間は、その特徴によって大きく2つの期間に分けられる。湯治場を中心として発展した1910（明治43）～1949（昭和24）を「原風景形成期一期」、ボーリング技術が普及したことで湯けむりが数多く掘削され、遠景での湯けむり景観が見られるようになった1950（昭和25）～1972（昭和47）を「原風景形成期二期」と定める」  
 注4) 地獄「火山性ガスや温泉の蒸気熱などにより草木の生えない場所や極めて高温の温泉が大量に湧出する源泉地帯」海・山・カマド・鬼山・白池・金竜・血の池・竜巻・坊主・鬼石坊主地獄などがある

### 【参考文献】

- 西久保裕子、山口洋介「重要文化的景観における景観構成要素の抽出とその保存価値の分析に関する研究 - 別府市鉄輪・明礬温泉地域において -」
- 福井彩乃、佐藤誠治、姫野由香「古写真にみる景観変容と選考景観の構図的特性 別府市鉄輪・明礬温泉地区の重要文化的景観指定に関する研究」日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1 分冊, pp. 981～982, 2009. 8
- 別府市誌、第1巻～第3巻
- 湯けむり景観調査報告書
- 野見山周作、富山晃一、木方十根、高尾忠志、福島綾子「福江宮原地区における集落景観の変遷とその景観構成単位一下五島のキリスト教系集落の文化的景観に関する基礎的研究 その1、その2」日本建築学会九州支部研究報告、第48号、pp. 361～368, 2009. 3
- 横井秀紀、松本将一郎、西山徳明「文化的景観における景観デザインに関する研究 重要文化的景観「小鹿田の里」景観整備計画に向けて」日本建築学会九州支部研究報告、第48号、pp. 377～380, 2009. 3
- 松本将一郎、麻生美希、柿原芳章、山口知恵、西山徳明「日田市「小鹿田焼の里」文化的景観の保存計画に関する研究一その2一 一土地利用の変遷からみる文化的景観の分析一」日本建築学会九州支部研究報告、第47号、pp. 373～376, 2008. 3
- 大森洋子、中之丸論志「小鹿田焼の里」文化的景観の保存計画に関する研究一その5一 一皿山の文化的景観の特性一」日本建築学会九州支部研究報告、第47号、pp. 361～364, 2008. 3

\*1 大分大学工学部福祉環境工学科 学部生

\*2 大分大学工学部福祉環境工学科・助教 博士（工学）

\*3 大分大学工学部福祉環境工学科・教授 博士（工学）

Undergraduate Student, Oita Univ.

Research Associate, Dept. of Architecture, Faculty of Eng, Oita Univ., DrEng

Professor, Dept. of Architecture, Faculty of Eng, Oita Univ., DrEng